



渦

藤澤 栄里

この作品は、長和町を巡り五感で受け止めたものを形に落とし込んだ。
長和町は、人と人が結びつき連携を取るコミュニケーションが強い場所だと感じ、また伝統や地に根付く歴史を大事にしている町だ。
しかし、それゆえの閉塞感も感じられた。伝統は、昔から受け継がれてきた有形無形の風習・文化であるが、それは内にある精神を縛るものでもあるのではないだろうか。伝統、歴史、自然など町を象徴する場、概念に対し、風土愛に溢れている町だからこそ渦のようなものに飲み込まれていると感じた。
しかし、綻ばない渦はないとも考え、2016から続くこのプロジェクトを通して目には映らないが、新しい風は徐々に吹き込まれているのではないだろうか、と思い至り渦が少しずつ崩壊していくような立体物を制作した。